

子ども美術講座【西条市】

～豊かな感性と想像力を育てよう～

◆活動の目的・理念

- 子どもの豊かな感性や表現力を養う。
- 絵を描くことの楽しさや完成させることの喜びを味わう。
- 持続力、集中力を養う。

活動場所	中央公民館	対象学校区名	西条市内全域(小学校)	子どもの平均参加人数	16 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日 日・休業日等	10 日 日	9 : 15 ~ 12 : 00 : ~ :	活動のべ 日数	10 日
協働活動サポーターのべ人数	人		ボランティアのべ人数	28 人	保護者
参加者募集	広報さいじょうに掲載 小学校を通じてチラシを配布	連携・協力 機関・団体	教職員OB		

取組の概要

<主な取組内容>

●色々な画材を使い、テーマに沿って表現する。

- (1)家族を描く (2)動物を描く (3)水彩画 (4)空想の世界を描く
(5)夏休みの思い出を描く (6)クロッキー (7)乗り物を描く
(8)紙版画で年賀状を作る (9)自由に描く (10)作品鑑賞、作品展示準備



『夏休みの思い出』(クレパス)

どんな場面を描くのか。
色は混ぜて使ってみよう。

『クロッキー』

「物を見て描く一見方と描き方」
自分の手や靴等をよく見て描きました。

『乗り物』(クレパス)

何をどのように描くか。構図は
どうするかを考えて描く。



紙版画で
年賀状を作成



講師がアドバイス

児童の感想

- ・色の混ぜ方や絵がうまく描けるかき方がよく分かって、学校でも迫力のあるきれいな絵が描けるようになったのでよかったです。
- ・僕は絵を描くことが好きだけど、集中力やていねいさが足りないの、そこを直したいと思いました。
- ・絵を描くときに色や人物、物の大きさ、背景に気をつけるようになりました。

保護者の感想

- ・妥協せずいつも最後まで描ききったのがすごいと思いました。コツやポイントが少しずつわかってきているのかなと嬉しく思います。
- ・回を重ねていくごとに自分で考えながら真剣に取り組んでいく様子を見ることができてよかったです。先生の丁寧な指導は親もとても勉強になりました。



制作した作品を講師が講評

<特色ある取組>

- 受講生は、市内全域から参加するので地域内では経験できない出会いがあり、異年齢の交流にもつなげる。
- レベルの高い技法や普段使うことのない画材で制作している。
- 個々が制作した全作品を並べ、講師が講評し、その中で2点を選び、作品展を開催することで、広く市民の皆さんに発表する機会を持つ。



発表の場となる作品展を開催

事業を実施して

【成果】

- 習得した技術を学校の図工の時間にも活かし、授業が楽しい、絵を描くのが楽しいと自信をつけた子どもが多かった。
- 毎回作品を最後まで仕上げる持続力、集中力が身についた。
- 他児童の作品に触れ、見る力をつけた。

【課題】

- 子どもたち一人一人に、より目が行届くように今年度から1～3年生は保護者同伴にしたが、引き続き協力者の発掘に取り組むたい。